TAKE FREE
10
2021
RELEASE

くわな NPO かつどう
EDITORIAL NEWS

Issue ： 桑名市市民活動センター
E-mail ： kuwana-sksc@tuba.ocn.ne.jp.
URL ：https://civickuwana.com
Contact ： 桑名市市民活動センター Tel ： 24-1184
(認)みえきた市民活動センター Tel：27-2700

◆◆今回は「精義安全パトロール隊」さんの記事をお届けします！◆◆

〈活動を表現する写真：精義安全パトロール隊〉

「精義の味方 」

「精義安全パトロール隊」は隊長の佐藤清和さんをはじめとし 30 名ほどで活動をされています。
主な活動内容は精義地区の児童の登下校の見守り、啓発の旗の設置、県や市主催のボランティア研修会への出席などです。

「精義安全パトロール隊」のみなさんは児童と隊員の信頼関係を大切にされています。コミュニケーションを深められるようにと入学式での新入生・保護者の方々との対面式、「交通安全学習会」の授業、校庭清掃活動や秋の運動会では「安パト隊を探せ」と銘打って児童と競演されたり、また桑名市交通安全協会の青色回転灯パトロールカー（青パト）に同乗して校区内のパトロールなど精力的に活動されています。

通学路には横断歩道がなかったり、見通しの悪い交差点が多くあります。
それらの交差点をパトロールの重点箇所とし見守りをされています。
過去には児童が不審者に声を掛けられる。ということもあり、数回にわたって子どもの人権と安全を守る市民活動団体「ＣＡＰみえ」による研修会を主催しました。不審者に声を掛けられたとき、だれかから暴力を受けたとき、自分を守るにはどうしたらよいかの学習の場を保護者向け、児童向けにそれぞれ設けました。

不審者による声かけ事案が発生した場合は、速やかに「まちコミ×ール」で保護者や隊員に発信することになっているそうです。

このコロナ禍において児童のみなさんは感染予防意識も高く、しっかりとマスクを着用されているようです。

もし、友だち間で感染者がでた場合「それは罪悪ではなく災害被害者なので決して差別をすることがあってはならない。差別の感染拡大ほど恐ろしいものはない」と指導されています。

隊長をはじめ隊員の方々は青パトに乗って校区内を周回し、広報スピーカーを使用して児童だけでなく、一般の歩行者や走行車両に対しても交通安全と防犯の啓発の呼びかけをし、それが今後おこりうるかもしれない事故や犯罪への抑止力に繋がると考えておられます。

地域のつながりというものが防犯に対しても、とても大切ことなんだと改めて感じました。

連絡先：精義地区社会福祉協議会

⋮市民講座　防災を真剣に考える「シン・ボウサイ」シリーズ⋮

・10 月 15 日（金）シン・ボウサイ②避難所運営ゲーム体験　14：00～16：00
「カードを使って避難所の運営を模擬体験します」くわな×ディアライヴ第 1 会議室

・10 月 25 日（月）シン・ボウサイ①ふれあいトーク 14：00～16：00
「自然災害に対しての備え」講師　防災・危機管理課　藤井一隆さん
くわな×ディアライヴ 2F 第 1 会議室　**＊9 月中止の代替開催です**
シン・ボウサイ①②定員 30 名（先着順・要申込み）

・シン・ボウサイ③連動企画　備蓄食の優れもの「乾パン」乾パンを使ったレシピを募集！
A4 サイズの用紙に材料、手順、名前、連絡先を記入の上応募　締切 10 月 30 日（土）

・人気の高いレシピを 11 月 17 日（水）開催のシン・ボウサイ③「ローリングストック」で調理します。くわな×ディアライヴ 2F 調理室　定員 15 名（先着順・要申込み）

⋮市民講座⋮お問合せ・申込み・応募先　市民活動センター　TEL：24-1184　FAX:24-1735

◆シリーズ SDGｓ◆

（3）暮らしの中の SDGs①

世界のさまざまな問題から、わたしたちの足元までつながっている SDGs。17 の目標の 1 つである「14．海の豊かさを守ろう」では、「ターゲット 14.2　～健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う」とあります。桑名市では、名産のハマグリを守り育てる活動が行われています。桑名市で採れるハマグリは、1965 年 3,000 トンもの漁獲量でしたが、1995 年には 0.8 トンまで落ち込みました。ハマグリは、汚染に弱く環境にも敏感です。そのため、開発による干潟の減少や環境の変化から、漁獲量の落ち込みにつながりました。その桑名の名産であるハマグリを絶やさないために、赤須賀漁業組合と行政が協力し「後世にハマグリを残していきたい」という思いから、ハマグリの種苗が行われています。そして、ハマグリを育てるだけではなく、干潟の人工的な再生や海につながりのある山の環境を考える植樹活動も取り組まれています。山から海までを考えた海の豊かさを守る活動と共に、桑名市の文化を守る活動につながっています。

参考：https://www.city.kuwana.lg.jp/index.cfm/26,11412,281,630,html